



売機「ART BOOK VENDING MACHINE」では、アートブックとしても楽しめる絵本を中心に、ユニークな出会いを提供します。また、アーティストによる予約制のワークショップや、随時参加可能なWOSETによるワークショップなど、親子でたのしめる企画なども盛りだくさんです。要予約制の託児所もごさいます。

協力：株式会社 子どもの文化普及協会、WOSET

## □ワークショップ

■11月28日（金）-12月1日（日）

### Workshop「Where in the Woset Will Your Imagination Take You」

時間：11月28日（木）12:00-17:00

11月29日（金）～12月1日（日）11:00-18:00

参加費：無料

Tokyo Art Book Fair で、ウォゼットと一緒にクリエイティブな旅へ。このワークショップでは、クレヨンやマーカー、コラージュを使ってあなただけのオリジナルアートブックをつくります。真っ白なページに絵や文字を載せて、世界に一冊だけの本を完成させましょう。アーティストでも、そうでなくても、想像力を思い切り自由に使うワークショップ。ウォゼットの世界に一步踏み入れると、創造力があなたをどこまでも連れて行ってくれるはず。

企画：Woset

■11月28日（木）

### 「Fun place for everyone! コラージュワークショップ みんなが集まる楽しい居場所」

時間：17:30-18:15

講師：川口涼子（建築家）

参加費：500円

新しい建築や場所作りのプロジェクトを始める時、イギリスではよく子どもたちとワークショップを行います。希望に満ち溢れた創造豊かな子どもたちのアイデアが、人が自然と寄ってくる場所づくりのヒントになります。今回はコラージュを使います。ミス、コルビジェ、アーキグラムなど世界中の有名建築家も、アイデアを膨らませるためにコラージュを活用しています。写真や雑誌の切り抜きを新たに組み合わせると、ハッとするようなアイデアのかけらが生まれます。コラージュを使って東京都現代美術館の広場をみんなが集まる楽しいパブリックスペースにデザインしてみましょう。

■11月29日（金）

### 「Greeba's Art Book Book」

時間：未定

参加費：未定

グリーバはウォゼットの中で一番クリエイティブな住人。いつでも新しいプロジェクトを考えていて、それをノートに綴っています。中でも本はコンセプトやデザイン、何を書くかなど、たくさんのクリエイティブなアイデアが詰め込まれているから大好き。みんなでグリーバと一緒に本作りのコンセプトとデザインを考えてみましょう。このワークショップでは、作ってみたい夢の本をページに描き、展示し、そしてみんなの夢が詰まった「アートブック本」をつくります。

企画：WOSET

### 「Find your TABF」

時間：17:00 - 18:00

講師：TOKYO PHOTOGRAPHIC RESEARCH（小山泰介、金秋雨、築山礁太、山本華）

参加費：500円

簡単な写真のレクチャー（約10分）、8枚のポラロイド写真の撮影（約30分）、撮影した写真を見ること（約20分）を通じて、写真によって身近な世界を再発見してみましょう。本WSでは、与えられた8つのキーワードを手がかりにTABF内で写真を撮影し、その写真を参加者みんなで講評することで、写真の面白さや新しい視点に気づく体験ができることを目指します。

協力：ポラロイド

■11月30日（土）

### 「アトリエ・エーのトートバックワークショップ」

時間：11:30-12:00、12:00-12:30、12:30-14:00

講師：アトリエ・エー

参加費：500円

無地のトートバックに下書きも型紙もなく直接ペンでどんどん絵を描いていくワークショップ。子供たちの思い出がつまったオリジナルのTABFショッパーをつくろう！

### 「わたしのヒュッテ」

時間：14:00-14:45

講師：工藤桃子（建築家）

自然の中に自分の山小屋（ヒュッテ）を作ってみよう！山ではどんな動物が遊び、雨宿りをし、眠りに来るか、山小屋からどんな景色が見えるか（草原、森、連峰など）イメージを膨らませて作っていきます。Karimoku提供の色々な木の破片を使ってヒュッテを作り、最後にジオラマ写真を撮りましょう。

協力：カリモク家具株式会社

### 「みんなでニセモノのハナクソを作ろう」

時間：16:00-16:30

講師：加賀美健（アーティスト）

参加費：500円

新聞紙、ガムテープ、消しゴムを使って大きな鼻くそ、小さな鼻くそをみんなで作りましょう。

### 「何でもサイコロにしよう」

時間：17:00-17:30

講師：平山昌尚

参加費：500円

テープと油性マーカー、紙、各々が持っている物とか色んなもので、サイコロを作りましょう。

■12月1日(日)

### 「EMOZINE」

時間：11:30-12:15、12:30-13:15

講師：オードリー・フォンドゥカヴ（アーティスト）

参加費：1000円

※詳細は次回のプレスリリースまたはウェブ等でご案内します。

### 「Reading a book with ぼく わたしの マグカップ」

時間：14:30-15:15

講師：Hana Akiyama x Mayuko Tsunoda(minna)

参加費：2000円

本を読んでいたら ぼくのカップの中に お月さまが映っていたよ。きみにはなにが見える？- 工作 & お絵かきをして、覗くと楽しいMYマグカップを作ろう！あたたかいドリンクを飲み、本の世界へ潜り込む。飲み物は読書の大切なお供。イラストレーター秋山花の作品の中に度々登場するモチーフ「コップの中の水月」から着想を得て、即興工作「ママつくって」をライフワークとするminnaのデザイナー角田真祐子と企画した工作ワークショップを開催します。

### 「Animal Habitat どうぶつ の いるばしょ」

時間：16:30-17:15

講師：シャルロット・デュマ（アーティスト）

参加費：1000円

オランダ人アーティスト・シャルロット・デュマによるワークショップ。彼女が撮影した動物の写真切り抜いて、動物のための部屋を絵で描いてみましょう。

## □託児サービス

【利用対象者】 TOKYO ART BOOK FAIR 2024（以下、TABF）へご来場の方  
託児サービスをご利用の際は、当日有効のTABF入場チケット(保護者1名分)\*のご提示が必要です。  
\*身体障害者手帳等のご提示でも可

### 【ご利用案内】

年齢：1～12歳

託児サービス実施日時：

11月28日（木） 12:00-18:00

11月29日（金）～ 12月1日（日） 11:00-17:00

利用時間：1時間～（一人1日1回・最長3時間まで \*受付とお迎えを含む）

利用料金：お子さま1名・1回につき500円（税込）

お預かり場所：TABF PLAYGROUNDエリア内託児スペース（東京都現代美術館 B2F 講堂）

【お申込方法】 事前予約制。お電話または申込フォームよりお申込みください。（定員になり次第、受付終了）

予約受付期間：11月14日（木） 12:00～利用日前日の17:00まで

定員：1日20名前後

※当日受付が可能な場合もあります。

※先にTABF入場チケットをご購入いただいてから、託児利用をお申込みください。

※TABF入場チケットは、購入後のキャンセル・変更はできません。

※託児サービスは申し込み後のキャンセル・変更が可能です。

お申込み方法、当日の持ち物、変更・キャンセルについてなど詳細は下記の専用サイトよりお確かめください。

【お問い合わせ】 TABF託児事務局（運営会社：株式会社Kidventure）

TEL：03-6820-0181（受付時間：平日10:00-17:00 \*日本語のみ）

[TABF託児サービス専用サイト](#)

## NEW RELEASE! — TABFにあわせてリリースする書籍・アイテム —

### □ステファン・マルクス ZINE 『Die Hefte』

ステファン・マルクスは、ドイツ・ベルリンを拠点に活躍するアーティストです。優れた観察力によって日常生活を切り取ったユーモアのある知的なドローイングや言葉は、本やキャンバス、ビルボー

ド、スケートボード、Tシャツ、レコードカバーなど多様なメディアを介して広く知られ、世界中の人たちを魅了しています。TABF2024で開催する、マルクスがこれまでに手がけた約90冊のアーティストブックを一堂に集めた展示「Die Hefte」に合わせて、展示名と同名のタイトルを冠したZINEを刊行いたします。



ステファン・マルクスとのコラボレーションによるTABFオフィシャルトートバッグを発売します。マルクスがTABFのために描き下ろしたアートブックを読むカエルのモチーフは、彼が昨年TABFに参加した際、会場周辺で蛙のイラストをよく見かけたという清澄白河の街の印象と、清澄庭園にある松尾芭蕉の句碑「古池や蛙飛びこむ水の音」からインスピレーションを得たとのこと。シルクスクリーン印刷協力：OIL MOUNT PRINTERS

#### □MISS READ x TABF 『出版のマニフェストの出版 (Publishing Publishing Manifestos) 』



アーティストであり、2009年からベルリンのアートブックフェア「MISS READ」のディレクターを務めるミハリス・ピヒラー。2018年に10回目の開催を迎えた「Miss Read」で、彼はありきたりなフェアカタログとは一線を画す、アーティストや作家によるマニフェストを収録した『Publishing Manifestos』を刊行しました。その翌年には、さらなる編集を加えた同タイトルの書籍をMIT Pressと共同出版し、世界中に流通させました。TABFでは、ドイツをゲストカントリーとして特集するこの機会に、ピヒラーが書き下ろした『Publishing Manifestos』の序文を『出版のマニフェストの出版 (Publishing Publishing Manifestos) 』と題して日英バイリンガルで刊行する運びとなりました。本書は、『Publishing Manifestos』に掲載されているマニフェストを引用しながら、近年のアートブック文化を紐解きます。また日本版では、オリジナルコンテンツに加え、平山昌尚のインタビュー、『NEUTRAL COLORS』の加藤直徳、加納大輔、アーティストのミヤギフトシによる鼎談も収録しています。

## Unlimited Mate vol.2

昨年からスタートした、韓国・ソウルのアートブックフェア UNLIMITED EDITION と TOKYO ART BOOK FAIR は、両国の新進作家のサポートを目的とする新しい取り組みとして、それぞれのフェアの出展者をお互いのフェアに無償で招待するブースエクステンジプログラムを今年も実施いたします。

## OUTDOOR LOUNGE

---



TABFを外からも盛り上げるべく、L PACK.がキュレーションする「OUTDOOR LOUNGE」では美味しいフードやドリンクを振る舞うキッチンカーが並びます。コーヒー、カレー、ワイン、ビール、サンドイッチ、お菓子、弁当にアイス。お腹ペコペコの方も、小腹が空いた方も満足していただける充実したメニューです。買ったばかりのアートブックを読んだり、久しぶりの友人と語りあったりと自由に休憩できる気持ちの良いスペースでは、今年から物販が行われ蚤の市のような要素もプラスされます。どうぞごゆっくりお楽しみください！

L PACK./エルパック

小田桐奨と中嶋哲矢によるユニット。共に1984年生まれ、静岡文化芸術大学空間造形学科卒。アート、デザイン、建築、民藝などの思考や技術を横断しながら、最小限の道具と現地の素材を臨機応変に組み合わせた「コーヒーのある風景」をきっかけに、まちの要素の一部となることを目指す。

## NEIGHBOURS

---

東京都現代美術館周辺のギャラリー、書店、ショップ、レストラン、カフェなどを紹介し、周遊を促します。

<https://tokyoartbookfair.com/neighbours/>

プレス画像は、以下よりダウンロードください。

<https://drive.google.com/drive/folders/1CMy5J3qNbOZOLDez66rHOTtnZVuZHxzI?usp=sharing>

※ ワークショップ、ライブパフォーマンス、トークイベントの詳細、申込方法につきましては、後日配信予定のプレスリリースにてご案内させていただきます。

URL: <https://tokyoartbookfair.com/>

Instagram: @tokyoartbookfair

X: @tabf\_info

Facebook: @tokyoartbookfair

プレス担当：鳥海 [press@tokyoartbookfair.com](mailto:press@tokyoartbookfair.com)